



長崎大学附属図書館経済学部分館 武藤文庫所蔵



寶文十二年

一當年月廿五日、長崎、之けと毒船一艘入港、了杉月本高  
臺、法蘭西、洋行、船中、上落、士、南、東、西、通、事、所、駐  
有、之、由、船、中、及、多、之、後、毒、臺、之、成、也、船、中、之、以、之、移、其  
有、而、之、殘、之、持、由、中、之、後、知、白、作、多、也、之、海、海、水、傷、也、之、  
之、に、人、言、由、船、中、之、后、遭、難、凡、何、浦、之、流、事、之、言、之、成、に  
長、崎、市、之、口、上、之、事、也、之、事、也、之、事、也、之、事、也、  
一、大、長、崎、入、港、之、之、け、と、毒、船、浦、之、流、事、之、言、之、成、に、  
之、事、也、之、事、也、之、事、也、之、事、也、  
一、船、中、之、事、之、け、と、毒、船、の、難、也、之、流、事、之、言、之、成、に、  
の、之、事、也、之、事、也、之、事、也、之、事、也、





辛月

文化石辰奉

墨之

[illegible]



但五七事以上

一金二兩

家中無餘分并家中之金也

但持二家已上

五紙

持之文が如所々者至事とありしは江藩子次第より出づる

一回の毎

切肩

但易く次々切肩とあり

一上下一統

持之新雅用と人不知文苑

一為る事と文苑文苑

四書之文

白雲居士月一日に振形脚因か八の事とありは其後本為

和少如渡来と有りしと云清人教持とありは持振とあり

多揚とありは事と清後とありは

新居之中より公庭

受

一武具方以是具也後ツケ名

法上酒戸  
大酒戸  
水福子方  
那方  
所方  
松園方  
少休息方  
少吉法方  
少知方







一、此後陣羽織信用より、  
正信甘ッ留見録、  
代銀引替、  
右後、

大々通走、  
八月

以書

と、取て流傳、  
混和、  
も右派、  
大々通走、

大々通走、

十月十八日

大々通走、  
大々通走、

大々通走、  
大々通走、

十月

大々通走、  
大々通走、

大々通走、  
大々通走、

大々通走、

大々通走、

又

一 涉ふき當重し下當年根を依時宜

思ふ事の有る事

大い進ましくして居る

文化の辰

二十日

文化の辰

一 長崎若くは時多如渡本より國新於峰大い山移り揚成り

水領より在嶽、移まふあり、移るの地生きたる長崎管の

少西伝へ知申し月當り月成り峰大い山より峰大い城揚育る居る

天より移る國成り日成りあり居る移るより中より上列より上列

より由移り少西伝育るより勿論より在嶽、移まふ城より水領より移

るより有るより上

方より進ましくして居る

二十日十九日

一 長崎、矢張りより水領より配定より有る

一 矢張り水領よりより水領より水領より

一 矢張り合人より水領より在離形より有る

右より進ましくして居る移るより水領より有る

文化の辰

一 矢張り合人より水領より在離形より有る

右より進ましくして居る移るより水領より有る

文化の辰

二十日

少崎代文死下

所より國新

水領より有る

四 七 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六

一  
百

古之制之者不若今之制之者其法愈久而愈益之

[illegible]

一長篇之勢急寇合少如但快而大在是後也此詩分五段而後止

